

東京都社会福祉審議会検討分科会

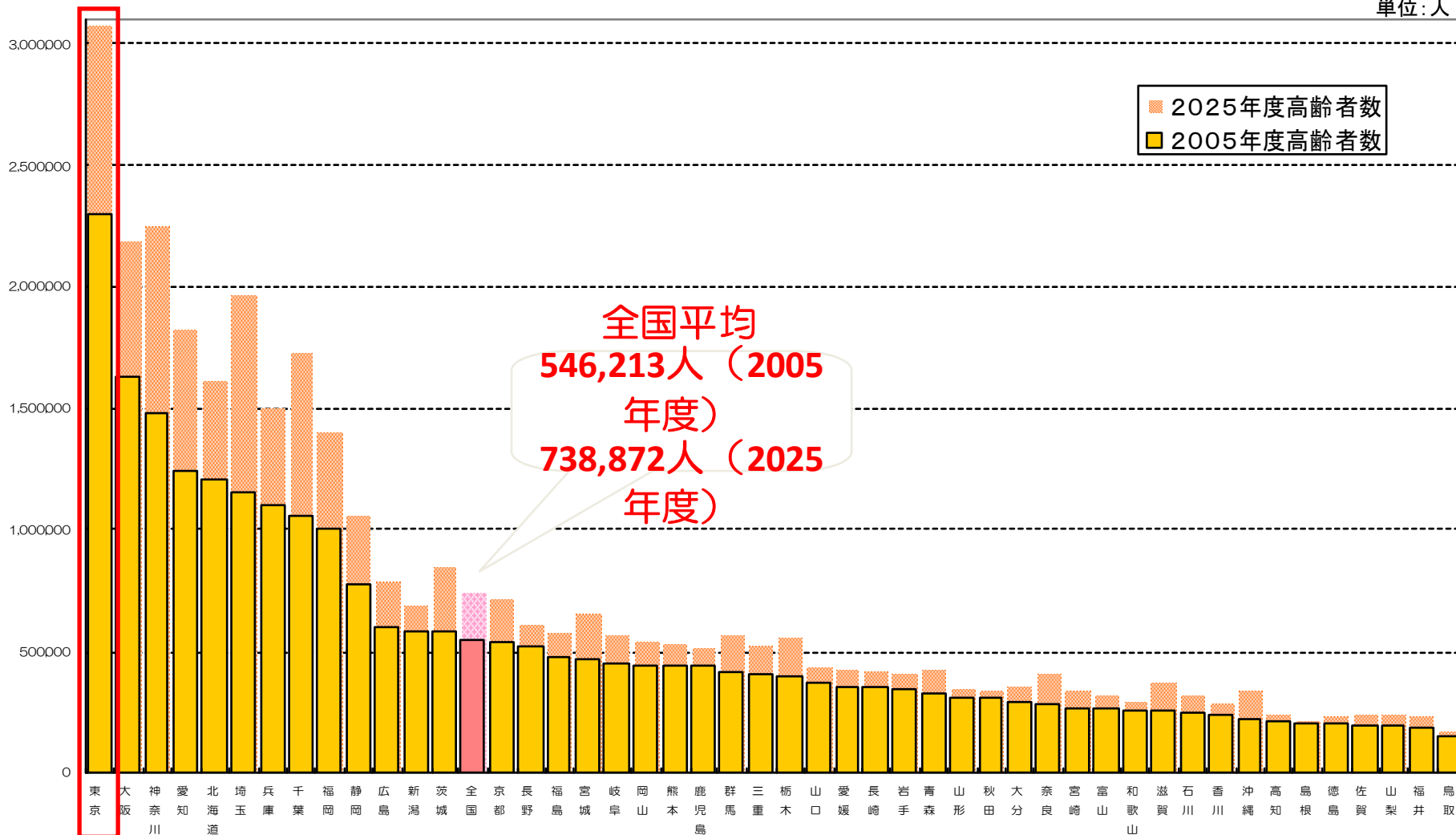
人生を支える医療

東京都医師会 会長
野中 博

都道府県別高齢者数の増加状況

高齢者人口は、今後20年間、首都圏を始めとする都市部を中心に増加し、高齢者への介護サービス量の増加が見込まれるとともに、高齢者の「住まい」の問題等への対応が不可欠になる。

単位：人



【資料】

2005年の高齢者人口については、総務省統計局「平成17年国勢調査第1次基本集計（確定値）」
 2025年の高齢者人口については、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口（平成14年3月推計）」

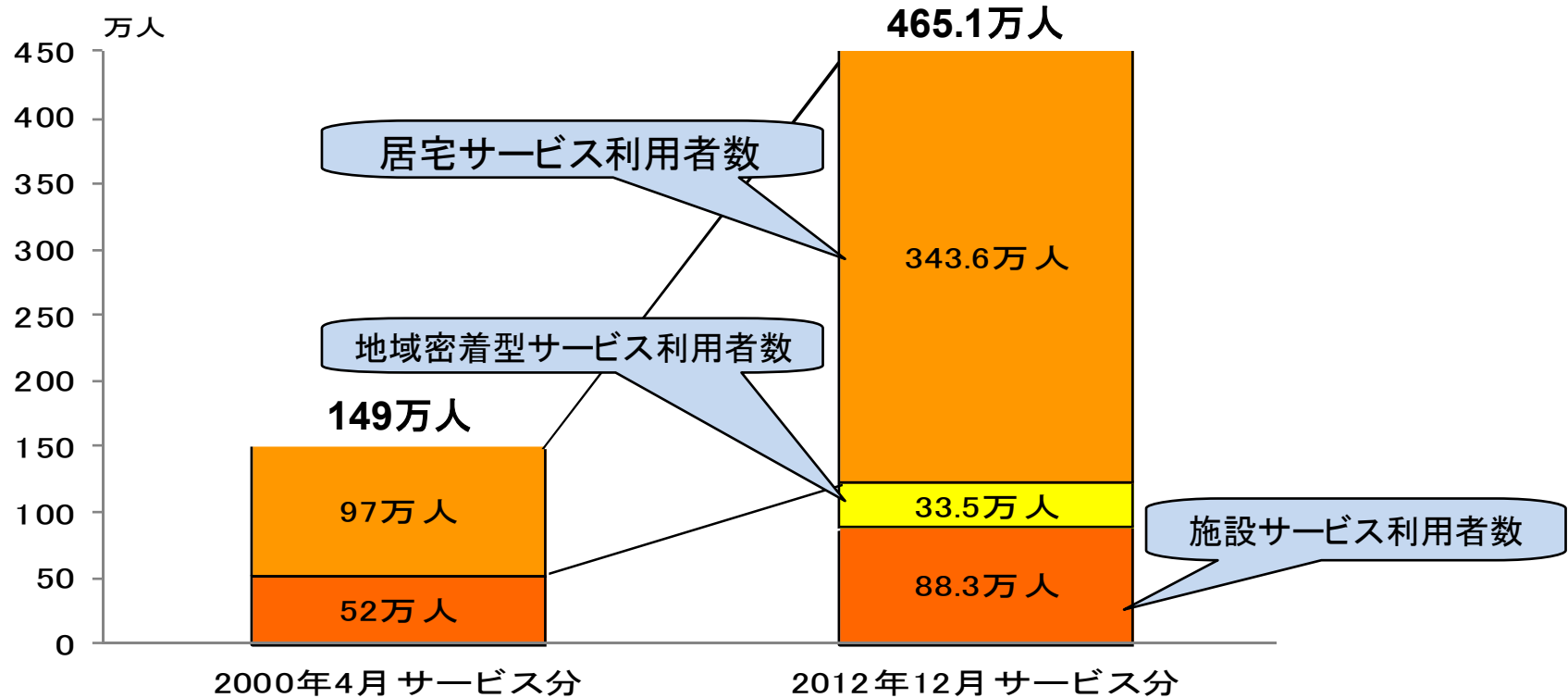
高齢者人口増加による課題

1. 東京など大都市
2. 老々介護
3. 独居老人
4. 認知症
5. 孤立死
6. 住まい etc

■第1号被保険者数と要介護認定者数の推移

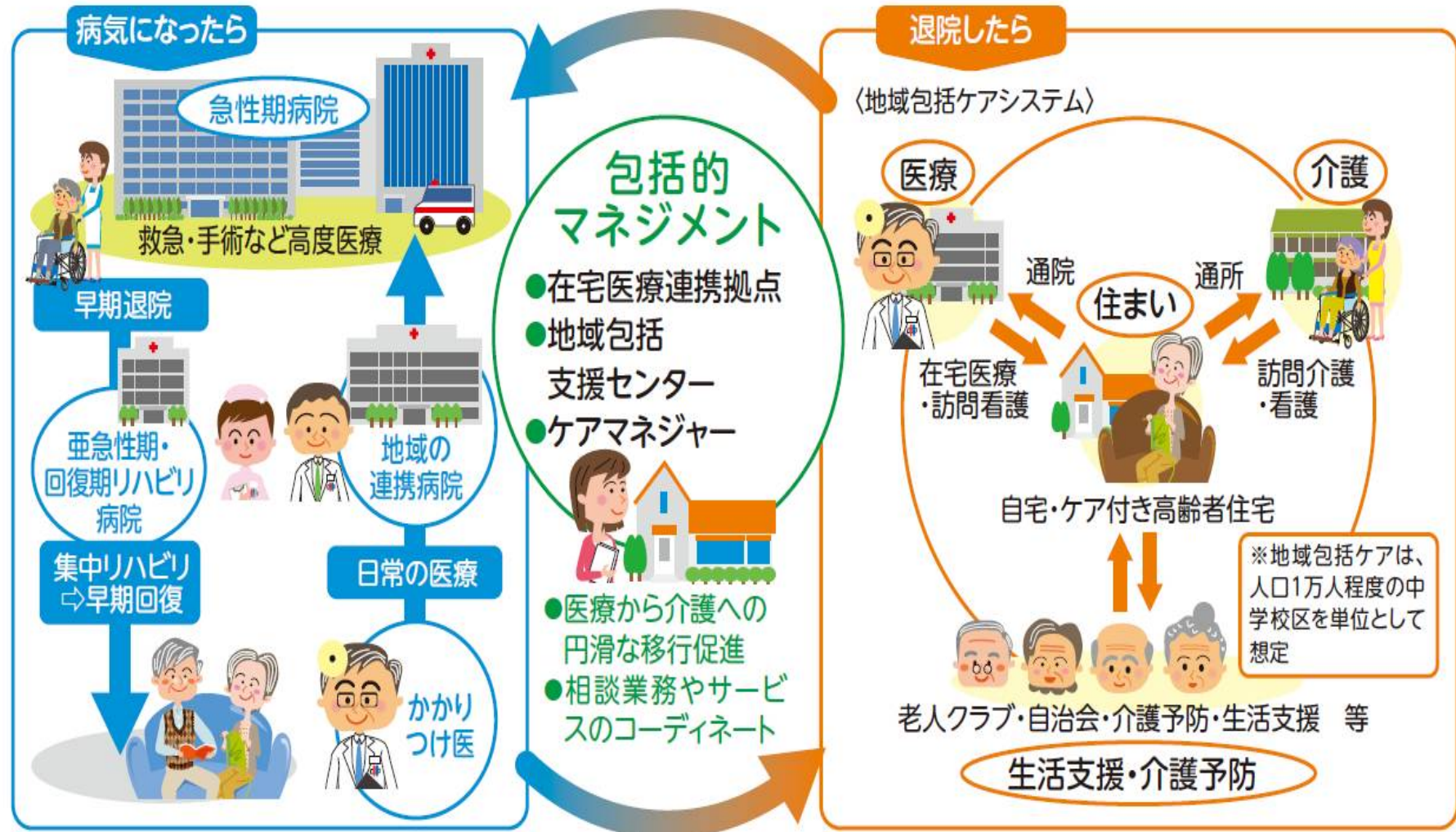
	2000年4月末	2012年12月末
第1号被保険者数	2,165万人	3,059万人
要介護(支援)認定者数	218万人	554.0万人

■利用者数の推移



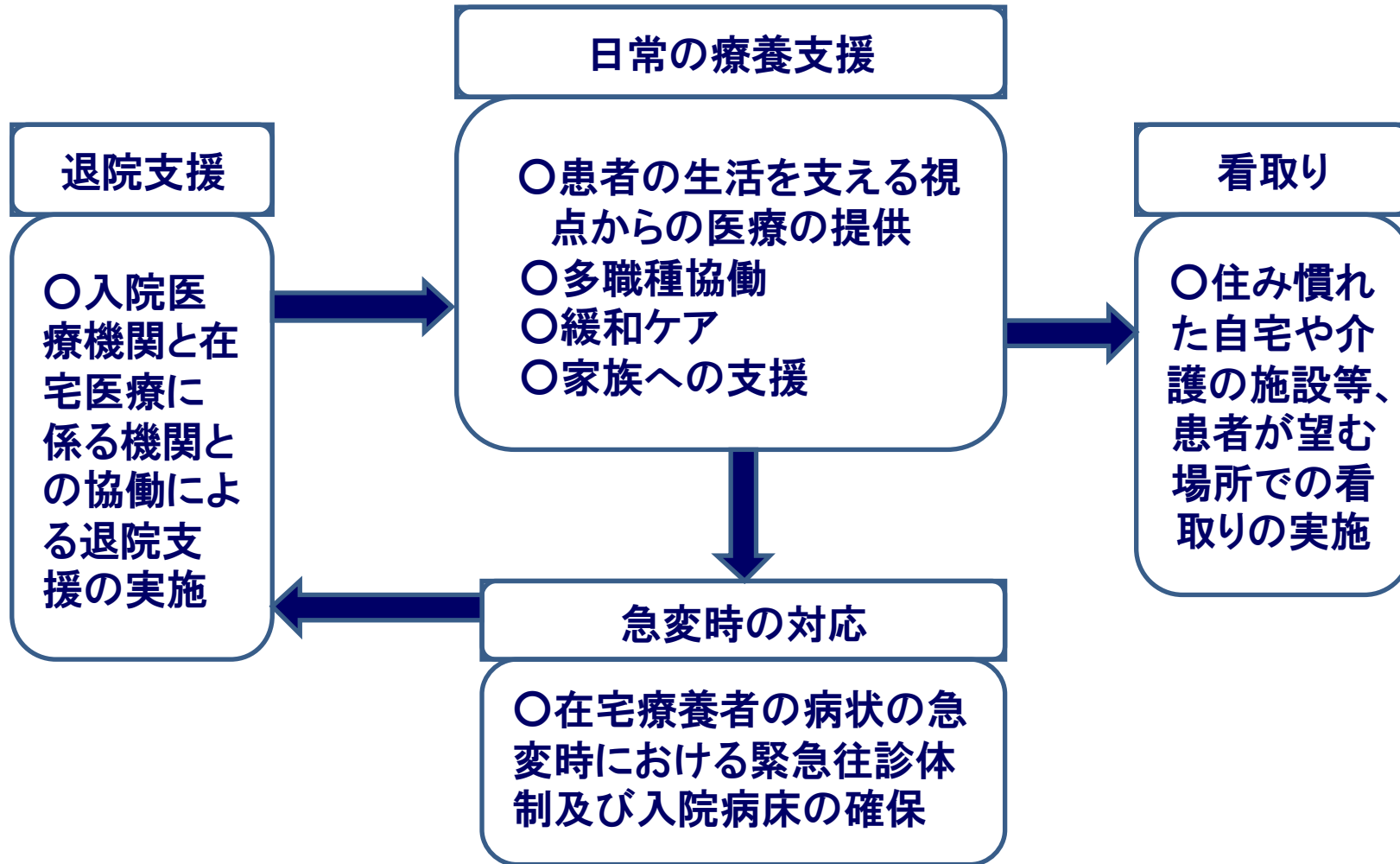
出典: 介護給付費実態調査月報(厚生労働省大臣官房統計情報部) 介護保険事業状況報告(厚生労働省老健局介護保険課)
 注: 地域密着型サービスはH18.4より開始。数値はそれぞれの単位未満での四捨五入のため、計に一致しない場合がある。

住み慣れた地域で安心して生活するために



(社会保障と税一体改革パンフレットより)

地域医療に必要な体制



地域での生活を支えるために

①医療との連携強化

入院、退院、在宅復帰を通じて切れ目ないサービス提供
24時間対応の在宅医療、訪問看護等の充実強化

②介護サービスの充実強化

在宅生活への介護サービスの強化

③予防の推進

出来る限り要介護状態にならない予防や自立支援型介護

④多様な生活支援サービスの確保(見守り、配食、買い物等)

一人暮らし、高齢夫婦世帯や認知症の増加を踏まえ、
様々な生活支援サービスの推進

⑤住み続ける事の出来る高齢者住まいの整備

かかりつけ医

- ・いつでも気軽に相談に応じる診察。(プライマリ・ケア)
- ・診察の結果、感冒や発熱等の日常病では治療を開始
- ・また専門医の診察が必要かを判断
- ・治療を開始しても、良好な結果が得られない場合には
専門医への受診を勧め、適切な医療を提供
- ・病状の安定後、専門医と協力して、
患者さんの地域での生活を支える